

言必先生の中国便り

中国人のジョーク

アメリカの大統領選挙について、中国のネットでも様々な議論で溢れている。その中には面白いジョークもあり、ここでそのいくつかを読者にご紹介する。

ニューヨークに在住の華僑が、選挙の列に並んでいる最中、前にいた若い黒人が「どうしてこの選挙のために三時間も待たなければならぬのか」と文句を言った。その黒人は華僑に「お宅の国の選挙はどのくらいの時間を待つか」と聞いた。この華僑は、

「淡々と二千年以上の時間を待たされている」と答え、黒人を大いに驚かせた。華僑の答えは正しくて、中華民族の二千年以上の歴史の中で一度も公平な選挙が行われたことはないと言うのは周知の

事実である。

ある中国の移民は、海外移民を制限する政策を提唱するトランプ氏に投票した。記者が彼に、「貴方は移民政策の受益者なのに、どうしてこの政策を反対するトランプ氏に票を入れたのか」と質問した。この移民は「私は中国の汚職官僚が嫌いなのでアメリカに移住したが、最近彼らが大量アメリカに移住してきている。私はどこに逃げればいいのか」と答えた。このジョークが中国人の意識を端的に表していると思う。

中には、世界の国々の人が自国の選挙制度について説明するという風刺的なジョークもある。

アメリカ人は、自分の国は午前中に投票して、午後には誰が次の大統領になるか知っているのと自慢した。中国人は、自分の国では投票の五年前から誰が国家主席になるか知っているのと自慢した。北朝鮮人は、子供頃から誰が

現在の総書記になるか知っていたと自慢した。日本人は、毎回選挙で投票しても、誰か知らない人を選ばれるとがっかりした。ロシア人は、自分の国の大統領が職務に疲れて

総理になり、総理の職務に疲れ、また大統領になれると紹介した。キューバ人は、国のリーダーは交代できるという事実に驚いた。



半年に1度の冬の大セール! 12月31日まで 0120-039-064 携帯電話・PHSからもOK!

くわしくは、同封の「半年に1度の冬の大セール!」のチラシをごらんください。 5